

# 都市再生整備計画 事後評価シート

## 長居駅周辺地区

令和 7年 8月

大阪府大阪市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	大阪府		市町村名	大阪市		地区名	長居駅周辺地区			面積	126 ha	
交付期間	平成31年度～令和5年度		事後評価実施時期	令和7年8月		交付対象事業費	755.20 百万		国費率	50%		

1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	事業名 道路(道路・歩道拡幅)／地域生活基盤施設(広場・自転車駐輪場)／高質空間形成施設(緑化)									
		提案事業	なし									
	当初計画から削除した事業	基幹事業	事業名				削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響		
		提案事業	なし				—			—		
	新たに追加した事業	基幹事業	なし				—			—		
		提案事業	なし				—			—		
	交付期間の変更	当初	平成31年度～平成33年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		なし					
		変更	平成31年度～令和5年度									

2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指 標			単位	従前値		目標値		数 値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ 予定時期
				基準年度		目標年度	モニタリング	評価値						
	指標1	歩行者通行量	人／12時間	1,656人	H29年度	2,400人	R5年度		5,855人	○	あり	駅前広場の整備により、公共交通施設(鉄道駅)へのアクセス性に加え、安全性が向上したことで、指標の達成につながった。	—	
	指標2	長居駅周辺地区の魅力度	%	50%	H30年度	78%	R5年度		87%	○	あり			
										なし	駅前広場の整備により、公共交通施設(鉄道駅)へのアクセス性や安全性に加え、緑化等を含めて魅力と賑わいが向上し、指標の達成につながった。	—		

3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指 標			単位	従前値		目標値		数 値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ 予定時期
				基準年度		目標年度	モニタリング	評価値						
	その他の数値指標1	—		—										
	その他の数値指標2	—		—										
その他の数値指標3	—		—											

4)定性的な効果発現状況

①安全・安心な歩行空間の確保:歩道のない駅周辺道路への歩道整備や駅前の広場整備によって、駅周辺の歩行者空間が確保される。  
②地域活動等による賑わい創出:駅前の広場空間を活用した地域活動等が可能になったことにより、地域のつながりや賑わいの向上が期待される。  
③鉄道駅へのアクセス性向上:駅周辺の歩行者空間が拡がるとともに、鉄道沿線の連続した道路整備が実施されることにより、周辺地域から駅へのアクセス性が向上する。  
④公園ネットワークの拡大:駅前広場が周辺の既存公園とのつながりをもって整備されることにより、当該地域の公園ネットワークが拡大し、みどりのあるまちなみの形成に寄与する。

5)実施過程の評価		実施内容			実施状況			今後の対応方針等		
	モニタリング	なし				都市再生整備計画に記載し、実施できた				
						都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した				
						都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				
	官民連携による取組	なし				都市再生整備計画に記載し、実施できた				
						都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した				
						都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				
持続的なまちづくり体制の構築	なし				都市再生整備計画に記載し、実施できた					
					都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した					
					都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					

## 様式2-2 地区の概要

長居駅周辺地区（大阪府大阪市）都市再生整備計画事業の成果概要									
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標：地域協働でつくる『風かおるみち』の実現 目標1：車よりも人・みどりを優先した、ゆったり安全に歩行できる空間の創出 目標2：新しい玄関口にふさわしい、人優先のオープンスペースを確保し地域の活動による賑わいのある駅周辺空間の創出		歩行者通行量	単位：人	1,656人	H29年度	2,400人	R5年度	5,855人	R5年度
		長居駅周辺地区の魅力度	単位：%	50%	H30年度	78%	R5年度	87%	R5年度
<div><div><p>位置図</p><p>大阪府</p><p>大阪市</p><p>当該地区</p></div><div><p>&lt;凡例&gt;</p><p>— : 都市再生整備計画区域</p><p>— : 潜在快適性等向上区域</p><p>(参考)</p><p>○ : 関連事業</p></div></div>									
まちの課題の変化	当該地区については、現在、ほぼ歩道が無い道路であり、自動車と歩行者が混在する形となっている。また、本市管理地となっている、フェンスで囲まれたアスファルトの空き地は、有効活用が図れず、地域活動に制限がある。これらのことから、地域協働でとりまとめた計画案に基づき、安全安心な歩行者空間、駅への交通アクセスの動線の整理および、JR阪和線の高架化後の新たな玄関口、さらには長居公園へと続く、みどり豊かな歩行者優先及び地域活動の場としての空間の整備の必要性が急がれている。								
今後のまちづくりの方策 （改善策を含む）	①地域協働でまとめた天王寺大和川線の基本計画検討案～『風かおる"みち"』の実現をめざして 平成24年度～ 地域・専門家・行政がそれぞれの役割を担い、相互学習、意見交換等を行うなどの連携を図りながら、計画段階から行政と地域が連携し、検討を進めてきた整備案の実現へ向け、引き続き地域協働に取組みながら事業を進めることとしている。								